

ユニフォーム作製にあたって

日本小学生バレーボール連盟

はじめに

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）主催の大会に参加するチームは JVA が定めるユニフォーム規定及び日本小学生バレーボール連盟のユニフォームに関する基本的な考え方を遵守しなければなりません。各チームがその内容を熟知した上でユニフォームを作製できるように本文書を作成いたしました。

1. ユニフォーム規程について

資料「公益財団法人 日本バレーボール協会 競技要項 P68～70」参照

特に、以下の点について再確認をし、規定に合わないユニフォームは、大会（JVA 主催大会）に向けて手直しや再作製をする必要があります。

3. 選手番号

(1)ユニフォーム(ジャージ(シャツ))には、選手番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。

(例)



5. チームネーム

(1)ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVA-MRS に届け出たチームネームまたはそれを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボルマーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。

(2)ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと(高さが低いこと)

番号が明確に表示されていない例



番号が枠だけ



柄と番号が同化している





地の色と対照的ではない



銀色で光って見えづらい

2. ウェア・シューズ・サポーター公認制度について

毎年度ごと、JVA 公認企業ロゴ一覧が示されますので、ご確認ください。

3. 日本小学生バレーボール連盟としての基本的な考え

(1) ユニフォームのデザインについて

ノースリーブのユニフォームに関して、肌の露出部分を多くすることで擦り傷等のけがや盗撮のリスクがあることから着用は好ましくない。

許容されるデザイン（フレンチリーブ、キャプスリーブ）



(2) シャツのインとアウトについて

見た目も良くなく、パフォーマンスにも影響することが予想されることや肌の露出の点で怪我や盗撮のリスクもあることから**シャツを入れるよう指導する**。

ただし、夏の大会で空調設備のない会場で開催する場合や会場内の熱中症指数が上がっている場合など、状況によってはシャツを出して着用することを認める。その判断は、各大会ごと主催（主管）者によって行い、大会要項または代表者会議にて示す。

ベンチスタッフについては、選手と同様にシャツを入れるのが好ましいが、チームの判断に委ね、指導はしない。

I-5 国内競技大会参加チームのユニフォームについて

ユニフォーム規程

2019年3月
国内競技委員会

1. 目的

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会(以下 JVA)が主催する国内競技大会に参加するチームのユニフォームや役員の服装についてその詳細を定めることを目的とする。
- (2) Vリーグ参加チームのユニフォームについては別に定める。また、JVA と他の団体が共催する大会で別に定められた規程がある場合は、その規程に従う。

2. ユニフォーム

(1) ユニホーム

- ① ユニフォームとは、ジャージ(シャツ)、ショーツを指す。6人制においてはソックスもユニホームに含まれる。
- ② ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければならない。(リベロプレーヤーを除く)
- ③ チームは、カラーの異なった2種類のユニフォーム(ジャージ(シャツ)・ショーツ)を用意することが望ましい。
- ④ ユニフォームのメインカラー(主たる色)は、概ね2/3以上を占めていることとする。
- ⑤ リベロプレーヤーはチームの他の競技者とはっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともジャージ(シャツ)だけは)を着用しなければならない。(明瞭に区別できる色・デザインであること。)

(2) ジャージ(シャツ)・ショーツ

- ① ジャージ(シャツ)およびショーツは色、デザインが統一されていること。
- ② ジャージ(シャツ)は半袖、長袖、ノースリーブが混在していてもよい。

(3) ソックス

- ① 色および長さが統一していること。

3. 選手番号

- (1) ユニフォーム(ジャージ(シャツ))には、選手番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。
- (2) 選手番号は6人制においては1～20番、9人制においては1～18番までとする。ただし、やむを得ない場合は1～99番まで認める。
- (3) 選手番号のサイズは、次の通りとする。

6・9人制とも	高校生以上		小・中学生	
	高さ	字幅	高さ	字幅
①シャツ胸部・中央	15cm以上	2cm以上	10cm以上	2cm以上
②シャツ背部・中央	20cm以上		15cm以上	

- (4) ショーツ前面下に、高さ4～6cm、字幅1cm以上の選手番号を付けてもよいが、全員がそろっていないなければならない。

4. チームキャプテン

- (1) チームキャプテンは、胸のナンバーの下に、長さ8cm、幅2cmのマークを、ジャージ(シャツ)と異なった色で付けていなければならない。

5. チームネーム

- (1) ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVA-MRSに届け出たチームネームまたはそれを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボルマーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。
- (2) ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと。(高さが低いこと)

6. 選手名 ※小学生連盟では付けない

- (1) ジャージ(シャツ)背部の上部中央に、着用する選手の選手名または通称を表示してもよい。(選手名の表示を認めていない種別を除く)
 - ① 選手名を表示する場合、出場する選手全員が表示することら
 - ② 選手名のサイズは、高さ6～8cmとする。
 - ③ 文字は、アルファベット横書きにより哀話するものとする。
 - ④ 表記は直線状または、肩の曲線に合わせたゆるやかな曲線状とする。

7. マニファクチャーロゴ

- (1) ユニフォームには、JVAが公認しているメーカーに限り、最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴをジャージ(シャツ)・ショーツにそれぞれ一箇所だけ付けることが許される。(ソックスは、左右各々の、内側と外側に付けてもよい)

8. スポンサーロゴ及びユニフォーム広告 ※小学生連盟では付けない

- (1) ユニフォームにチームスポンサー名または商品名・商標・ロゴマーク及びユニフォーム広告を付けることができる。ただし、別途定める「ユニフォーム広告に関する規程」に従うこととする。
- (2) 試合会場(体育館等)の規程により、広告掲載料が発生した場合は、当該チームがその実費を支払うものとする。

9. その他

- (1) ユニフォームには、上語3～8以外のものの表示認められない。

10. トレーニングウェア

- (1) トレーニングウェアは全員が統一されていることが望ましい。
- (2) トレーニングウェアにはチームネーム、選手名、選手番号を付けることができる。
- (3) トレーニングウェアには最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴを付けることができる。
- (4) スポンサー広告については、上記8と同様な扱いとする。

11. アンダーウェア等について

- (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

12. ペンチスタッフの服装

- (1) ペンチスタッフはジャケットを着用するか、スタッフで統一された服装でなければならない。
- (2) 部長や監督がジャケットを着用し、その他のスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) ペンチスタッフの着用する服装には最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴを付けることができる。
- (5) スポンサー広告については、上記8と同様な扱いとする。

以上

この規程は2019年3月31日より実施する。